

第2学年 生活科 やさいをそだてよう

本時の目標	これから育てる野菜の育て方について理解する。
本時で育成する 情報活用能力	野菜を観察する際に着目する部分を抽象化する。「分類・抽象化」 野菜の育て方を考え、シーケンス図を使って、これを整理することが出来る。「順序」「条件分岐」 野菜を育てるときに起こりうる現象と対処方法を考える。 ※繰り返しは本單元には含めていません。

☆推奨時間 2時間

準備物

野菜カード（野菜の絵のみ）、白紙のカード、野菜の種子

学習活動

指導上の留意点

○導入

1. 本時の学習課題を知る。

●育てる野菜を決めよう

- ・好きな野菜は何？
- ・嫌いな野菜は何？
- ・みんなで育ててみたいね。

※これから野菜を育てていくにあたり、何の野菜を育てるか。学校で育てられるか、今の季節ならどの野菜を育てたらよいか、児童の課題意識を引き出す問いかけで導入する。

○展開1 1時間目

1. グループになって作業を行う。
野菜カードを準備し、1グループ1セット配る。

2. たくさんの野菜を仲間分けする。

●仲間分けの方法

- ・野菜の名前を野菜カードに書く。
(具体化)
- ・野菜の特色を見つける。
- ・仲間分けする根拠(抽象化)を書き出す。

- ・具体的な野菜の名前に関心を持ち、仲間分けすることが出来る。
- ・なかなか見つからない場合は、助言をし、気付かせるようにする。

学習活動	指導上の留意点
<p>緑の野菜：キャベツ・レタス・ほうれんそう</p> <p>赤い野菜：唐辛子・トマト・パプリカ</p> <p>黄色い野菜：かぼちゃ・とうもろこし</p> <p>2. 各グループから発表する。</p> <p>・理由と仲間分けした野菜を発表する。</p>	<p>・仲間分けする根拠は、カードに書き出す。分類した理由を考えたり、探したりする活動を通して、具体化と抽象化の関係性をつかむことができる。</p> <p>2. グループの発表からさらに広い視野で見つけることができるようになる。</p>
<p>○まとめ</p>	
<p>1. 今の季節に何を育てることが出来るかを問いかけ、次回の活動について考える。</p>	<p>1. 生活の中で目にしている（例:スーパーの野菜売り場）身近な課題を取り入れることで抽象化を出来るようにする。</p>
<p>○展開2 2時間目</p>	
<p>1. 前時の学習を振り返る。</p> <p>2. 前回仲間分けした野菜のたねを観察し、気付いたことをグループで話し合い、発表する。</p> <p>・小さいたねだ</p> <p>・黒くてスイカのたねみたい！朝顔かもしれない？</p> <p>3. クイズをして、何のたねかを当てる。</p>	<p>1. 前時の学習した仲間分けを確認する。</p> <p>2. 様々な野菜の種子を用意し、それらを観察することによって、栽培への興味・関心を喚起する。（発見） みる（見た目）、きく、さわる（感触）、かぐなど観察の視点を板書で示す。</p> <p>3. 児童の意欲を高めるために、クイズ形式にして何の種子かを知らせる。</p>
<p>●クイズの例</p>	
<p>1番のたねは何でしょう？</p> <p>ヒント：皆より背がたかくなります</p> <p>ヒント：実が赤くなります</p>	
<p>4. 本時のめあてを知る。</p>	<p>4. 実物の野菜、または写真を提示して、種子と比較させる。 種子が野菜へと成長変化することへの驚きを喚起し、栽培への意欲と関心を高める。</p>

学習活動	指導上の留意点
<p>5. 野菜を育てるための育てる手順をグループで話し合う。</p> <p>①野菜を育てるために必要なことをカードに書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土や植木鉢が必要だよ ・肥料がないといけないね ・水やりは毎日必要だよ ・背が伸びたら支柱を立てていたよ <p>②栽培の順番を考え、カードに書き出す。</p> <p>③グループごとにシーケンス図を書く。</p>	<p>必要な道具例は予め出しておくといよい。</p> <p>①栽培に必要なもの・必要な作業を考える。(思考)</p> <p>②栽培していくとどんなことが起こるか(土の様子、日光のあたり方など)、カードに書き出す(条件分岐)。</p> <p>③条件分岐の考え方をを用いて、グループごとにシーケンス図を作成する。</p>
<p>○まとめ</p> <p>1. 次回の活動について考える。</p>	<p>●シーケンス図：書き方ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上から順番に書く <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[うえきばちを用意する] --> B[土を入れる] B --> C[たねをまく] </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「もしも〇〇なら、〇〇でなければ」で道筋を二つに分ける。 ・「繰り返し」は本年次では以下のように表す。 <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[まいあさ水をあげる] --> B[1しゅうかんくりかえす] </pre> </div> <p>1. 児童の希望を活かした活動になるよう</p>

学習活動

●何をしたい？

- ・道具をそろえたい
- ・さっそく植えてみたい

○発展

1時間目に仲間分けした野菜ごとに、栽培の順番や育て方が異なる等の場合分けを話し合う。

指導上の留意点

に次回の活動を考えさせる。

例：植木鉢に植えるか畑に植えるか（根の野菜か、葉の野菜か）、支柱があるかないか（蔓の有無、上に伸びるかなど）、など。